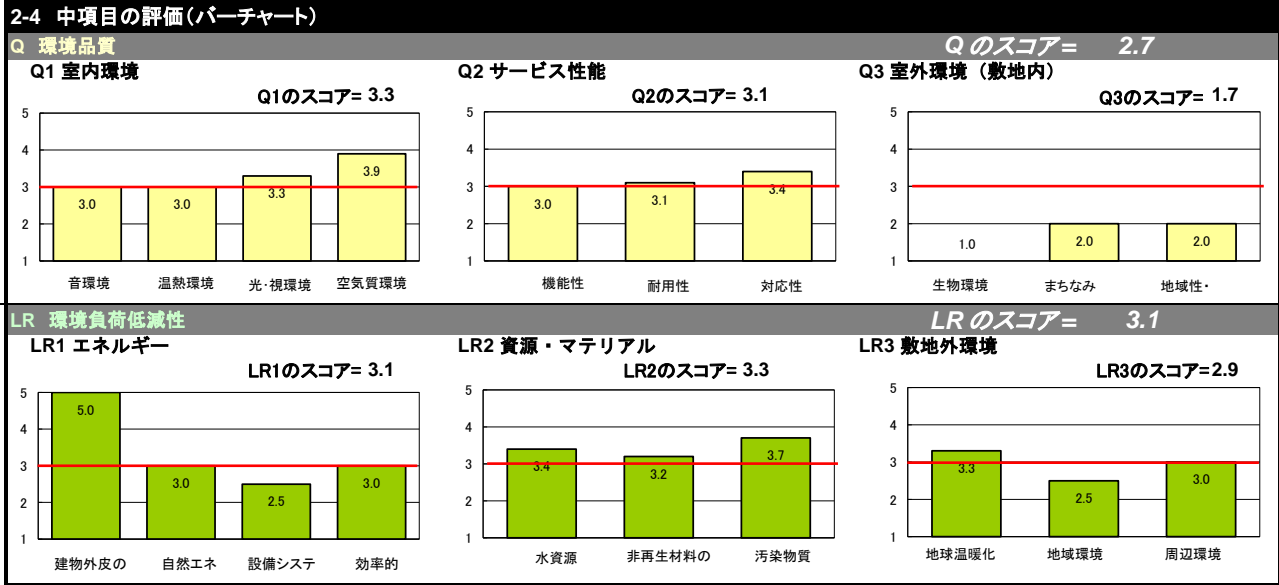
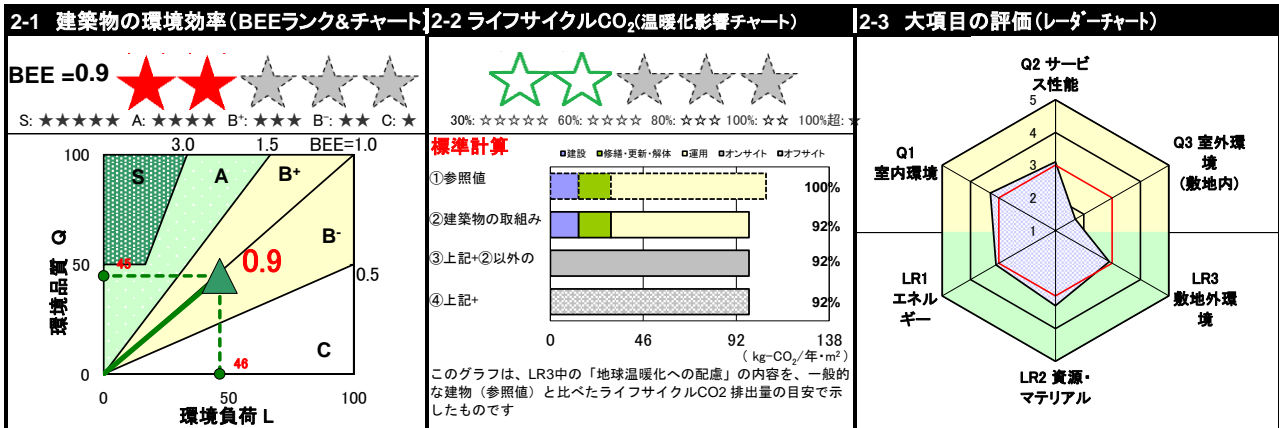


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)分析センター新設工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎3-818-1外19筆	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域 無指定	平均居住人員	450 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2020年6月15日
敷地面積	1,741 m ²	作成者	レイズネスト株式会社一級建築士事務所
建築面積	981 m ²	確認日	2020年6月22日
延床面積	4,748 m ²	確認者	レイズネスト株式会社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	特になし。	
Q1 室内環境 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。 喫煙ブースなど、非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分に取られている。	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上。 事務室の天井高2.7m以上。 階高:3.9m以上。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI _m =0.70。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、省水型機器(例えば擬音、節水型便器など)を用いている。 躯体+軽鉄+仕上材のディールを採用し、LGS使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して92%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される